

保護者や地域と共に創ろう！ やる気 やさしさ あふれる 笑顔の花結う相知小 ONE TEAM！
～おちついて うでくんで ちえを出し合う 相知っ子～ 「にこ・きび・あい・はき・どん」



この指とまれ！

唐津市立相知小学校
学校だより No. 5
令和7年7月2日発行
文責：校長 佐伯美和



右上のQRコードを読み取っていただくと相知小学校ホームページからもご覧いただけます。

7月に入り、1学期も残りわずかとなりました。

梅雨が明けた途端、うだるような暑さの毎日が続いております。学校に着いて教室内はエアコンで空調を行っているのですが、登下校中はなかなかの暑さ。帽子をかぶり、のどが渇く前に水分をとる等の熱中症予防対策を自分自身も行うよう、ご家庭での声掛けもお願いします。



【平和集会】

6月27日金曜日に、平和集会を行いました。暑さ対策のため、リモートでの集会です。代表委員会で集会の内容を話し合い、6月を平和の学習を重点的に行う月間とし、全校みんなで取り組みました。

【プログラム】

- 1 はじめの言葉
- 2 絵本の読み聞かせ
- 3 平和に関するクイズ
- 4 各学級からの平和宣言
- 5 劇
- 6 校長先生のはなし
- 7 振り返り
- 8 おわりの言葉



絵本の読み聞かせは、各学級に担当ページが割り当てられていて、そのページをリモートで教室から発信する形でした。

平和に関するクイズでは、

- 世界で戦争が起こっている数（50-60 だそうです）
- 起こる原因（土地の奪い合いだそうです）
→「自分さえよければいいという考えはいけませんね。」というコメントがありました。
- 日本の差別されている人の数（外国よりは少ない）
→一人一人が思いやっているからですが、差別されている人がいることは問題です。
- いじめで自殺する人の数（年々増えている）
→分かっているだけで1年間で50人が亡くなっています。全国の50人を救おう！見て見ぬふりをするのをやめよう！

と、4問のクイズが出題され、→以下のようなコメントをつけながら、○か×かをリモートで挙げる形で行っていました。

各学級からの平和宣言は、以下のとおりです。

- 6-1 ケンカ・差別はしません。
- 6-2 思いやり・優しさで行動します。
- 5-1 相手の立場に立って考えます。助け合います。
- 4-1 言葉づかいに気をつけます。
- 3-1 ほかほか言葉で差別やいじめをなくします。

3-2 やさしい心とほかほか言葉でなかくします。

2-1 けんかをなくし、友達にやさしくします。

1-1 やさしくしあって、なんでもちからをあわせていっしょうけんめいやりま。

そして、劇。「ちいちゃんのかげおくり」の音楽物語（＝歌とセリフでお話をすすめる）で、戦争のむごさと平和の尊さを伝えました。各学級から2名ずつ代表が集まり、そのほかに有志でコーラス隊（歌専門）が集まり、6年生が監督・撮影・効果等を担当し、全校で創り上げた音楽劇です。VTRにして、全校で視聴しました。

みんなで話し合ってみんなで取り組み、みんなで創り上げた平和集会でした。しかし、これがゴールではありません。これが再スタートです。ここで考えたこと、感じたことをこれからの生き方に反映させること、立てた誓いを実行していくことが大事です。相知小学校から、ますます平和にしていきたいと思います。

【アンケートのご協力、ありがとうございました】

先日、「いじめ・体罰アンケート」をとらせていただきました。ご協力、ありがとうございました。気になることがおありの方の詳しい内容について、今、個別にお子さんに聞き取りを行い、未解決のままになっていることについては、丁寧に解決させていっているところです。また、アンケートを通じて学校へお話いただいたことは、全てしっかり受け留めました。友達関係、言葉遣い、人に対する態度等、これからも引き続き指導していくべき点があることを再確認しました。いただいた内容を頭に入れて、学年に応じた指導をしていきます。また何かありましたら、いつでもお話しください。

【平等と公正】

例えば背丈の違う3人がフェンスの向こう側を見ようとしています。背の高い子は何の問題もなく見る



ことができます。2番目の背丈の子は、背伸びをすれば何とか見ることができます。しかし、背の低い子は、どうやってもフェンスの向こう側を見ることができません。

そこで、この3人に台を提供します。この時、「平等」に与えますか？それとも、「公平」に与えますか？

「平等に」とは、同じ高さの台を同じ数与えること、一方、「公平に」とは、上の図のように背の高さの違うそれぞれの子が、同じようにフェンスの向こう側を見ることができるよう、違う高さの台を、または、同じ高さの台をそれぞれの子にとって必要な数、与えること。

学校では、多くの場面で一人一人違う子どもたちに合った「公平」な指導や支援を行っています。そのために